

P T A 八番勝負！



nobvko 《水野暢子》

プロローグ

「うわ～★ ちょっと来てよ、おとうさんっ！」

「なに？ ゴキブリ？」

「これに比べればゴキちゃんなんて可愛いもんよ。」

「じゃあなに？」

「とうとうきたのよ、これが。ほら、平成の赤紙。」

「ああ、PTAの・・・。」

「そお、『PTAの役員希望表』っていうお知らせ。」

「でも、前に一回委員長やってるんだから、もうやなくていいんじゃないの？」

「あれは小学校の！ 今度のは中学校なのよ。PTAの委員なんてもう懲り懲りなのに～。」

「じゃあ、『やりません』って欄に素直に丸すればいいじゃん。」

「これはアンケートのふりした召集令状なのよ。だから『やらない』とか『やりたくない』とかじゃなくて、『家庭の事情で出来ない』っていう欄しかないの。」

「だったら、そこに丸すれば？ 実際のところ、おかあさんは病気持ちなんだから。小学校のときの環境委員長だって、冗談じゃなく危うく死ぬところだったじゃん。（笑）」

「それはそうなんだけど。・・・そこに丸つけるんならこちらの事情をキッチリ書かないと、わかってもらえないでしょう。自分が●●●を発病してるので体の無理がききません、って書くのイヤなのよね～。なんでそんなプライバシー晒さなくっちゃなんないのかな？」

「それはそうだけどさ、でも予（あらかじ）め書いておかないとくじ引きで委員になっちゃって、また委員長とかになっちゃったら断ることができなくなるよ。」

「そうなのよね～。委員ならなんとかできるとは思うんだけど、委員長はぜ～ったいに無理。っていうか今度やったら本当に死ぬ。」

「手を抜けばいいんだよ。出来る範囲でやる『頼まれボランティア』なんだからさ。」

「ところがドッコイ。そう思って一旦引受けると、本部の副会長さんたちが事細かにチェック入れてきて、そうは行かなくなるのは経験済み★」

「じゃあ、やっぱりきちんと事情を書かなくっちゃ。」

「う～ん。でも、こっちがしっかり書いてもちゃんと考慮してくれるかどうか怪しいのよね。前なんか、保護者懇談会の後でいきなり『せっかく集まっているから、この場で役員決めます』って言い出すから、『アンケートの結果はどうだったんですか』って聞いたら『まだ見てません』だって。それにほら、例の学年委員長さんのケースみたいに、最初はその人の事情を汲んで『委員会は無理して開かなくてOK』ってことで委員長を頼み込んでいて、後から『なんでちゃんとやらない』ってボコボコにしちゃうなんてこと、ざらだから。」

「それなら一か八か、一切書かずに、出来ません欄に丸つけちゃえば。」

「まあ、事情を詳しく書いたところで『皆さん、大変なのは同じだから～♪』なんて言われるのがオチだしね★ 先週の小学校のPTAがそれだった。」

「もしもおかあさんがくじ引きで委員長になっちゃったら、僕がその役、引き受けるよ。」

「え～！！だっておとうさん、通勤に片道2時間半もかかっているのに！ 無理じゃない？」

「だから、できることしかやらないよ。」

「え？」

「委員会も土曜日とかに開くことにして、それじゃあ駄目って言われても、それしかできません、っていうよ。もちろんPTA飲み会とかもなしでさ♪」

「それじゃ、あの学年委員長さんの二の舞いじゃない？」

「だって、こちらの事情を曲げて引受けるんだから、頼む方も組織の事情を曲げるべきだよ。」

「でも、PTAは親であれば誰もが『何をおいても子供たちのために』やるべきと思って当然だ、って押し付けてくるのよね・・・。」

毎年、この時期になると繰り返されるこの会話。

私たち夫婦のリアクションは、ちょっと大げさ過ぎじゃないかと思われました？

そう思われた方も、イヤもっともだと思われたお方も、これから始まる体験記『PTA八番勝負！』を是非ごらんくださいませ。

今から十年前のことですが、まだまだ十分ライブリー♪（笑）

一番勝負！「役員選出」

ボランティアだか義務だかよくわかんないこの手のお役目は、正直なところ避けて通りたいクチの私ですが、実はそのまた三年程前にも次男坊の幼稚園のクラス委員を仰せつかったことがありました。

でもその年の夏、突然お義父さんが腸の病で入院してしまい、アルツハイマーを発病していたお義母さんを預かることになって、てんやわんやの慣れない介護にとうとう役員のお仕事は途中リタイヤとなりました。

そんなこともあったので、その年の春入学した次男坊のクラス懇談会が4月に開かれた時、つい手を挙げてしまったんです。

なかなか決まらなかった役員さんのひとつ「環境委員」に。

昼間働いていて無理なお母さんが押し付けられたらかわいそうだし、きっと前年度も経験しているお母さんもいらっしゃるだろうから、その方に音頭を取ってもらえば私みたいなものでもそれなりに勤まるだろう……。

この物語は、こうして幕を開けたのです。（笑）

GW明けに開かれたPTAの全体会合。

ここでは、各委員会ごとに委員さんが集まって、委員長や副委員長、会計等の役割を決めるための話し合いが行われました。

私は当然無役のつもり。

おっ、さっそく副委員長に立候補が。

つづいて会計もすすんで引き受ける方がいらっしゃる。

この調子で委員長も決まれば、今日はお開き♪ って思っていたら、状況は一変！

何？ この重～い雰囲気は……。

未だ空席の委員長の座を前に、誰もが貝になってる。

副委員長と会計のお二人を除いて。

結局、最古にして最新の選出方法、くじ引きにより委員長を決めることになり、見事に当たり（ハズレ？）くじを引いたのは、これまでの人生で当たりクジなど引いたためしのないこの私★

初心者の私が委員長～お？！ 去年も環境委員を経験した人はいないのお～？！

エッ？ 進んでサブキャラに名乗りを挙げたあのお二人が経験者っ？！

ウ～ン、経験とはこのように活かすものなのか……。

我に返ってあたりを見回すと、そこにはすでに環境委員のお母さん方の姿はなく、かわってPTAの本部会役員さんたちが口々に「大丈夫よ～♪」「悩まない、悩まない！」「なんとかなるわよ～☆」とニコニコ励ましてくださる……が、どなたからも肝心のお仕事の説明がない！ 臨席されていた教頭先生は「各委員会は本部会の方で面倒見て下さいね。」とニッコリ釘を刺し

て帰っちゃうし、対する本部会もそれに関してはノーコメント。

ナニがどうなってるのかわからないまま、お開きになったちょうどその時、どこからともなく現れたのは前年度の環境委員長さん（らしい）。

私に分厚いバインダーを手渡したその女性は「これ見といてネ。見ればわかるから♪」と言ったかと思うと、風のごとく去って行きました。

この謎の女性と、彼女から渡されたバインダーが、さらなる波瀾を巻き起こすことになるろうとは、その時の私を知る由（よし）もなかったのです・・・。

二番勝負！「謎解き」

GW明けに開かれた初めてのPTA全体会で、環境委員長のくじを引いてしまった私は、謎の女性が残した分厚いバインダーと「これ見といてネ。見ればわかるから♪」という言葉に一縷の望みを託して家に帰りました。

さて家に帰ってからそのバインダーを開けてみると、ありましたありました、環境委員会の作業を記録したノートが♪

ちゃんと残してくれてるんですね～。これを見ればある程度の流れはつかめるハズ。

え～と、まずは最初の行事の記録を拝見。

ナニナニ？ さっそく校庭の草刈りがあるのか。

去年の実施日は平成12年6月14日・・・へっ、平成12年？！

これ、一昨年（おとし）のノートじゃない？（注：これは平成14年のお話です♪）

でもノートはこれ1冊だけ。

あの女性が委員長をつとめたはずの去年のノートは何処に・・・。

彼女から「これ見といてネ。見ればわかるから♪」と手渡されたバインダーの中で去年の痕跡をとどめるのは、無造作に挿まれた無数の走り書きのメモの山。

気が遠くなりそうになりながら、一昨年のノートと走り書きのメモを本部会から配られた今年度の行事予定に照らし合わせることでボンヤリとわかってきました、とりあえず私がやらなくっちゃいけないことが・・・。

それは、今月末にはもう第1回目の校庭草刈り行事があって、来月あたりに始まるベルマーク収集とあわせて、すぐにでも各家庭への案内状を準備しなければならないってこと。

それと委員会を開催して、環境委員のお仕事について説明しなくちゃならないってこと。

これじゃあ、前委員長からの引き継ぎを待つなんて悠長なことはやってられないみたいだ

～★（泣）

空いてる時間をフル活用して、手許に残された手がかりを頼りに案内状の原稿や環境委員会のお仕事を各委員さんに説明する資料を作り、それを教頭先生とPTA会長に見て頂いて、ようやく第一回委員会開催のメドがついたのでした。

ホッと一息ついているところへ、例の謎の女性から1本の電話が。

「明日、引き継ぎしたいんだけど来れるかな？」

「・・・はあ。」

あの～、来れるかな、って委員会あさってなんですけどお～★

三番勝負！「引継ぎ」

最初の委員会の前日、指定された小学校の教材室で謎の女性、じゃなくて前任の委員長さんとお会いした私。

「えっと、まだわからないことがいくつかあるんですが♪」

「ん？ 順番よ、順番！ ちゃ〜んと説明してくから！ ……ナニそれっ!？」

前委員長が指差したのは、明日の委員会用に私が用意していたアジェンダ（議案）でした。委員の方たちに年間スケジュールを伝える際、わかりやすくしようと思ってまとめておいたもので、前任者にもチェックしてもらおうと用意したものだだったんです、が。

「そんなの見せたら混乱させちゃうよっ！ ダメダメ!!」

「えっ★ でも……」

「絶〜対、そんなの見せたらダメっ！ いい？ 委員長はいろいろと胸のウチに入れとかなないとけないのヨっ！ 全部しゃべっちゃだめなの！ わかる？」

「はあ〜?!（それでノートにまとめることもしなかったのか……。）」

「ほらっ！ そんなことよりカイト！」

「えっ？」

「だから、今から私が言うことを書いてって言ってるの！」

「……書いてってそんな、急に言われても……（ゴソゴソ）」

「いいから早く書きなさい！」

「ぬう★」（←面喰らってる）

どうやら自分のペースじゃないとお気にさわるお方のようで。

それにしてもこの方、確か外で働いてるって言ってたけど、アジェンダ作るのがいけないことって一体どんなお仕事？

それより、こうやって人に「書け」って指図する方がよっぽどいけないことなんじゃあ★

な〜んて思いながらも、お指図どおりに十ほど箇条書きで既にクリア済みの「やるべきこと」を書かされて、それについて一方的な説明を受けたのでした。

そして最後に、

「ベルマーク集めは私はやってないから全然わからないワ。それは〇〇さんの担当だったからその人に聞いて。まあ、委員長の権限でいろいろ決めちゃってイイからさっ！」

って、一体!？

それよりも私の質問に一つも答えてくれないのはナゼエ？

まっ、いいワッ！ やりたいようにやるから！ このアジェンダだって皆～んなに配っちゃうんだから！！

かくして、開き直って臨んだ第一回環境委員会。そこでは、意外な展開が待っていたのです。

四番勝負！「初委員会」

前委員長からの引き継ぎ（？）のおかげで、ハッキリわかったことがありました。

それは、どの仕事にしろ基本的には委員長が音頭をとるのは当たり前として、仕事の内容は委員のみなさんとちゃんと共有しないとダメなんじゃないかってこと。

かといって、全部の仕事が全員の責任なんて建前を言われた日には、誰だってほったらかされたって思うもの。

ただ漫然と参加するよりは自分の役割が具体的に分かった方がいいはず・・・そう思った私は、

◎年二回の校庭草刈りの企画と実施（保護者全員で行う草刈りの時の飲み物の準備やゴミ処理のための町役場との交渉など）

◎年三回の交通安全週間の実施管理（学区域の交差点3カ所に、保護者が2名ずつ順繰りに立ち番する）

◎毎月のベルマーク整理と集計（委員会の時に環境委員全員で行う）

◎運動会やマラソン大会の時の本部会サポート（各委員会から出す、豚汁づくりや駐車場案内や交通安全の立ち番スタッフetc.）

などの主な仕事を分担してもらうため、既に準備したアジェンダに加えて空（カラ）の分担表を作り、翌日に備えたのでした。

さて、いよいよ第一回環境委員会の日が来ました！

何ごとも最初が肝心！

初回で流れを作っちゃわないと！！

と、開き直ってはみたものの、果たして何人の方がいらっしゃれるものかとても不安でした。

というのも、全部で12名の委員さんの大半がお仕事をされているからです。

案の定、その日の朝早く「急な仕事で委員会に出られません～」とのお電話が。

急な仕事なら致し方ありません。

かく言う私だって、いつ不測の事態が生じるかわからない身だし。

連絡を下さっただけありがたい・・・。

ア～ア★

アノ前委員長さんも何もスキ好んで独りでやってたわけではないんでしょう、きっと。

委員の皆さんの協力がなかなか得られなくて、結局お一人でがんばっちゃったんだろうな～って、少し同情モードが入ったり・・・。

今の私を支えるのは、「何をやってもうまく行く」と出てためざましテレビの占いだけ。

ところがそんな私の予想に反して、事態は意外な展開を見せたのでした。

第1回目の委員会の欠席者はたったの3名。

で、出席されたお母さん方は私が恐る恐る（笑）配ったアジェンダにそれぞれ目を通されていたかと思ったら、「これなら出来そう」と年間スケジュールの役割分担表に次々と名乗りをあげてくださったのです！

よくよく話を聞いてみると、皆さんも委員会の全体像がわからなくて不安が先に立っていた様子。

誰？ 年間スケジュールを胸のウチに秘めておけ、なんて言ったのは～！（笑）

幸先（さいさき）のよいスタートに気を良くした私。

今日のもう一つのテーマ、ベルマーク収集作業の説明に移ろうとしたとき、重大なことに気がつきました。

前任の委員長が言っていたベルマーク担当の〇〇さんこそが、今年副委員長に立候補されたあの方なのですが、その副委員長がいらしてないじゃあ～りませんか★

昨日の夕方、念のため挨拶に伺って今日のことをお願いした時には休むなんて言ってなかったから、ちょっとした遅刻かと思って進めてたのにい。

もう役割分担も終わっちゃったよお～。

これじゃあ、ベルマーク作業をみんなに説明できないよお～。

ええ～い、仕方がない！

今日はお開きにするか、ってそんなことできるのかっ！？・・・と思ったそのとき、まるでタイミングを見計らったように副委員長登場！（笑）

自分がない間に決められた役割分担についてひとしきりご意見の後、ようやくベルマーク作業についての説明をして下さいました。

何はともあれ、これで今年度分のベルマーク回収袋作りに取りかかれる・・・と安堵した瞬間、副委員長の携帯の着メロがっ！

お勤め先からの電話を受けたその方は、作業をみんなに任せて部屋を出て行ってしまいました。その後ろ姿をしばし呆然と見送った一同は、気を取り直して回収袋作りを開始。

途中からは、朝イチで欠席のお電話をくださった委員さんも参加して下さい、午前中いっぱいかかると覚悟していた委員会作業は、アッという間に終了♪

一人で残ってやろうと思っていた、草刈りの案内原稿コピー印刷350部分までも、テキパキと片付けて下さったのでした。

こうして最初の委員会は、終わり良ければ全て良し！

あとは、前年度から繰り越されている大量のベルマークを、各人が家に持ち帰って仕分けするために均等に山分けしてお開き・・・と思ったそのときです。

またしてもタイミングを見計らったように副委員長再登場！
自分がいない間に分けられたベルマークの山が自分だけ多い！
と、抗議をはじめたのです。

これにはさすがに皆さんカチンときた様子で、それぞれのベルマークの山を並べて「どれも同じでしょ」ってアピール。（笑）

さすがの私も結構アタマにきました、これからの一年間のためにはここが辛抱のしどころ、と努めて穏便にその場をおさめ、記念すべき第一回委員会を終了したのでした。（笑）

五番勝負！「対立」

雨降って地固まる、って言うんでしょうか。

最初の委員会でみなさんのキャラがハッキリしたおかげと、環境委員会の全体像をみなさんが把握してくださったおかげで、その後の委員会はそれなりに無難に進めることができました。

毎月襲いくる数々の主務雑務を協力しながらなんとかこなし、夏の炎天下の草刈りで校長先生の長演説に倒れたお母さんの救護もこなし、ある秋の日に突如として現れた昔の大量の未処理ベルマーク（いつから棚の奥で眠ってたんだろ☆）の集計もこなし、って環境委員会でした。が、その周辺ではちょっとした騒動が勃発していたのです。

年度の始め、誰もなり手がないうちで、関西から引っ越されてきたばかりにも関わらず学年委員会の委員長に立候補したお母さん（外で働かれています）。

委員の多くが外で働いていることや委員会の仕事内容から、作業は分担して進めることにして、定期的に委員会を開いて集まることはしないという方針を立てられました。

この方針を了承していた本部会が、二学期に入ってから「それではやっぱりまずい」と委員会を開くよう、理事会（本部会と各委員会代表者の定例会）で勧告を出したんです。

そうしたら、この動きに納得がいかないそのお母さん、委員長をやめると公然と表明！

一気に緊迫する理事会！！

これ、私としてはどちらの側にもつけないな～。

でもほっとけない問題だな～。

P T A が単に作業ボランティアじゃなくって、子供が多くの時間を過ごす学校という場に関わって、親同士のコミュニケーションを図るという意義もあることは確かで、自分に振られた作業分担さえこなせばOKってわけじゃないことはよくわかります。

でも、現実問題として日中は（理由はどうあれ）お勤めで忙しい保護者が多く、そんな人たちを決めた時間で集わせることは、とてもエネルギーのいる大変なことであるのも事実。

本部会のみなさんのように店屋物をとって会議をするなら親密度も増すでしょうけど、早く作業を終えて帰りたい気持ちが勝る委員会レベルでは同じようにはいかないんですよね。

なのに本部会っていうところの人たちは、そんな大変なことを任せる時には調子よくのせておいて、実際の活動が始まったら何のサポートもしてくれない、っていうのはこの私自身肌身に沁みってます★

そのお母さんもかなり意地っ張りな方であることは否めないんですけど、でもどちらかといえば、本部会の「委員長になったんだから、それなりの心構えが必要でしょ！」という、一見反論の余地ない御立派な主張が、私的には納得がいかない！！（笑）

本部会さんはそんな大層なことが言える程、きちんと活動されてますっけ？ って思った私は、つい「学年委員長さんの気持ちも分かります」って発言していました。

でも、そんな私という言葉など誰も聞いてなかったようで、その場はアンチ学年委員長一色に染まり、ついには四面楚歌と感じた学年委員長さんが席を立って、その日以来二度と理事会には姿を見せなくなりました。

部外者の人たちがこの件を聞きかじったら、やっぱり学年委員長さんが悪いって思うのかなあ。それとも、そういう吊るし上げのような雰囲気があるPTAのことを、やっぱり参加したくないわ〜と感じたりして？（笑）

そんなことをあれこれ考えていた私でしたが、まさか自分にも非難の矛先が向けられることになるうとは・・・。

六番勝負！「提案」

環境委員長としての勤めもいよいよ最終コーナーを回り、迎えた新年最初のPTA理事会。ご多分にもれず息子達を通う小学校でも、年々児童数（そしてクラス数）が減り続け、それに伴いPTAの役員数も減り続けています。なのになぜか仕事量の見直しを検討することもなく、次年度へそのまま引き継ごうとしているノ一気な本部会。（笑）

「（外での）仕事を持っているお母さんが増えている中、次年度もこのままの作業量ではもう無理かと・・・。」

私の周りで聞こえてくるお母さん達の、ひそやかな声を代弁したわけではありませんが、クジでなったとはいえ一年近く務めてきた委員長の実感もこめて、環境委員会の仕事の一部削減（例えば仕事量のそれほど多くない他委員会への移譲など）をおそろおそろ理事会に提案してみました。

あわせて、草刈りの際の飲み物代を確保するための予算増額の希望も。

案の定（？）、PTAの仕事の中身や分担をいじることにはなぜか大反対のお母様方から、「何はともあれすべては子供達のために！」とのいつもどおりのご立派な主張でけむにまかれて、参った参った☆

「でもですねえ。細かいことかもしれませんが、例えば交通安全週間の立ち番の分担表づくりにしても、PTA会員名簿を見せてほしいと本部会の方をお願いしたら、忙しいから自分で学校の保護者名簿借りて作れ、ってことだったんです。それで、教頭先生立ち会いの元でコピーを取って、教頭先生にもお手伝い頂いて名前と住所だけ切り張りして作ったんです。個人情報に極力伏せるために電話番号を省いて。でも、プライバシーに配慮するのだとしたら、使う時に使うところがいじるっていうのは変だと思うんです。本部会の責任で作成したものを、必要に応じて各委員会に配付するとか・・・。」

と、つい勢いに乗って説明しはじめた私に対して、

『環境』だけが
さも大変だって文句言って
そんなのワガママじゃない？
皆（み～んな）今までやってきたことでしょ？
そういう仕事だってわかってて引き受けたんでしょ？
違う？

私たちだって（外で）仕事してるけど

うまくやってるわよ～

と、「イジワルな相田みつを」みたいなことを我がモノ顔に言い出したのは、今年度の理事会では初めて見るお顔の広報委員さん★

あんた、急に出てきてなんてこと言うのお～！？

さてはこの広報委員会が予算たっぴりで仕事は楽チンだってわかってて引き受けたな～！？

・・・と、突然その女性の懐から大音量で響きわたったのは『地上の星』の着メロ。

そのメロディーに乗りながら、少しも悪びれることなく廊下へ出ていった堂々たる後ろ姿に、「ハハ～ン、その手のキャラか★」と妙に納得した私。

学校側（校長先生や教頭先生）は、

「確かに『環境』はやる作業がきっちり決まっていますからね。どうするかは皆さんで決めて下さいね。」

「予算については対応できそうですよ。」

と、それぞれ提案内容に耳を傾けて下さったようでしたが、何の効果もなかったようで（笑）、結局提出した改善案は理事会にほとんど聞き入れてもらえませんでした。（泣）

まあ、PTA議事録に少しは載せてもらえた（ハズ）ことで、当初の目的は最低限達成できたかなと、一応満足する気の弱い私。（でも、議事録ってあるのか！？ 見たことない～）

印象的だったのは、理事会に初めて出席して、私の援護射撃を一生懸命して下さった環境委員さんから、帰り道にお聞きした話。

「私は家で仕事してるからいいんだけど、外の仕事をやってると急に都合がつかないことってあるじゃない？ で、欠席の連絡を入れたら『委員を引き受けたんだからそのくらいやって当然でしょ～っ？』って嫌味言われちゃったって困ってるお母さん（←ほかの委員会の）、結構いるのよネ。ホントそういう雰囲気だったわ、今日の理事会★ だからって、私たちみたいに家にいるお母さんばかりに仕事が回されるのはもう御免だしネエ～。（苦笑）」

「女も経済的に自立しないと」ってな近ごろの風潮には「ハテナ？」で、「せっかく子供を授かったら、家にいないと」って日頃から感じてる古典派(?)な私ですが、「あるべき論」で全てのお母さんにPTAの仕事を無理強いしたりするのは嫌だし、仕事を持ってるお母さんを当てにせず出来る仕事量に減らすなり、仕事の分担を調整するなりは当然だと思うんです。

で、気がつけば、いつの間にか仕事持ってるお母さん達の代弁もしているトホホな私☆（笑）

何はともあれ、「いままでそれでやってきたんだから」っていう、「PTAのお役所体質」につくづく疲れた1日でした。

そしてその夜。

仕事から帰るなり、恒例となった私の愚痴を聴かされた夫の口からこんな言葉が。

「ほんとに環境委員会の仕事を減らしたいんなら、来年は本部会に入って変えちゃえば。」

「何いってるの!? PTAの役員なんて、もうまっぴらよ〜★」

「じゃあ、お役御免の後はきれいさっぱり忘れちゃえばいいじゃん。」

「う〜ん、それもなんか違うような・・・。」

「よし。じゃあ、毎回の委員会の議事録と草刈りなんかのときの案内状、全部見せて。」

「え〜!? 思い出したくもないのにい・・・。どんなことやってきたかは、いつも一緒に議事録作ってくれてたんだからわかってるでしょ〜。」

「今度の総会に出す活動報告書を準備するのさ。」

「活動報告書、これから作るの〜? まだ二か月も残ってるし、早すぎるんじゃない?」

「思い立ったが吉日、ってね。こういうのは早め早めに手を付けて、何度も手を入れるゆとりを持っといた方がいいんだよ。で、活動報告書では本部会も、どの委員会も『自分達はこんなに仕事をしてきました』って感じで一年間をまとめてくるはずなんだよね。」

「だから、環境委員会も負けないように大きさに?」

「その逆。本当に仕事が多い委員会なんだから、誇張せずに淡々と、一年間の密度がぱっと見でわかるようなレイアウトで作るんだよ。そういう文書でインパクトを残しとくとね、それがじわじわと効いてきて三年後くらいには何かが変わるはずだよ♪」

そんな夫の言葉に、この一年のおさらいを始めた私。

でも、そんなことで本当に何かが変わるのお〜???

七番勝負！「引き継ぎ」

一年間の勤めを無事(?) 終え、「前年度環境委員長」として臨んだ新年度のPTA総会は、4月のとある午後に開かれました。

新年度最初の授業参観と保護者懇談会の後、保護者はそのまま残って、PTAのお役目を今年は誰が引き受けるのか、ドキドキの(笑) 話し合いがもたれ、そのまた後で、前年度役員は活動報告と今年度の本部役員任命の「PTA総会」に出席、というなんとも長い半日でした。

前年度役員のお母さん方が、さも問題は何もなかったかのように笑顔でお決まりのセリフを読み上げる中、各委員会の委員長はそれぞれがちょっとずつ何か言いたげな表情で報告を済ませると、会は40分程で終了しました。

PTAでは唯一の男性だった前会長は一言「人間関係が難しかった★」とこぼしてましたが。その後、ほとんどのメンバーは恒例(らしい)のホテル立食パーティーに臨むため、職員室の前に止まっているバスに乗り込みましたが、そういうのが苦手な私は挨拶をすませると、急いで夕食準備に帰宅しました。

・・・ってゆ〜か、お役目終了気分になど浸ってられなかったのです。

GW明けには最難関(?)の「引き継ぎ」が待っているのです、それに向けて最後の準備に入らなければならない・・・。(泣)

一年間環境委員長をやって、作業量の予想以上に多いことに心底まいった私。

でも次の委員長さん(まだ決まっていない)には驚かさずに、そして無駄な負担をかけずに、一連の作業をお渡ししなければ☆

あれこれ悩んだ末、GW明けに開かれる新年度評議会で選出されるお三方(環境委員長、副委員長、会計さん)に目を通してもらえるよう「環境委員会作業マニュアル」とやらを、いつものように夫の手を借りて作ってみることにしました。

「こういうのもね、下手に作るとかえって邪魔くさがられるんだよ。」

「じゃあ、やっぱり作らない方が良い？」

「とんでもない。環境委員会の仕事を減らすためには、絶好のチャンス♪」

「どういうこと？」

「ポイントは、どんなキャラの人が委員長になっても委員会としては一通りこなせるように、各作業の内容と手順を分かりやすく書くこと。この時、委員会の仕切り方みたいなことは一切書かないように注意！ 人は誰だって、やりたいようにしか出来ないからね。それから・・・」

「それから？」

「もし減らすとしたらどれから手を付ければいいのか、誰にでも見当がつけられるように工夫して書く。もちろん、減らすべし！　なんていう主張はおくびにも出さずにね♪」

改めて振り返ると煩雑きわまりない環境委員会のお仕事でしたが、いつどんなことをやったか、活動報告書よりも詳しく、そしてわかりやすく&シンプルになるようにと整理した作業マニュアル。

後日、私なんかよりも遥かに気の利きそうな新任の委員長さんたち三人に説明。

その後で、夫のアドバイスに従い、頼まれてもいないのに教頭先生や受け取るのを嫌がる新副会長さんにもお渡しして、私の引き継ぎとしたのでした。

そして一年後・・・。

八番勝負！「変化」

私が環境委員長の役目を終えてからまる一年たった年度末、微熱が出始めていたにもかかわらず息子たちの出る「六年生を送る会」を観に、学校へ出かけました。

案の定、後で高熱になって寝込んだんですが（笑）、その時は観たい一心で赤い顔（たぶん）をしながら体育館へと向かった私。

その途中、その年度の役員のお母さんたちといつものように遭遇しました。（←学校にいく度になぜか出くわしちゃうんです。なんでだろ？）

この年のPTAには私は一会員としてしか関わっていませんでしたが、引き継ぎの時に色々私と私の愚痴っぽくなりがちな説明を聞いて下さった新副会長さんのご尽力もあって、例の名簿の件は本部会に引き取っていただき、環境委員会の仕事もほんの少し軽減されたようでした。

この副会長さんは、同時期に自治会のある委員会の委員長として仕事の整理と合理化を成し遂げられたほどの活動的な女性で、PTAの会長は代々男性なんて言う慣例（笑）がなければ、まさに会長職にうってつけの方。（今はご本人が固辞されて無役ですが）

それから、私後の委員長さんもやっぱりくじ引きでなっちゃった方でしたが、大人しそうな見かけによらずとても実行力のある方で、私の時よりも順調にことを運んでおられた様子。

で、いつもだったら向こうから笑顔で話しかけてくれるんですが、今日はそれもなしに真剣な表情で駆けて行っちゃった後ろ姿に、なんとなくいつもと違う緊張感があって気になったものの、その時は自分のことで精一杯。

子供たちの演し物の後、先生方の「世界にひとつだけの花」の大合唱&パフォーマンスが終わったところで、本格的に具合が悪くなった私は、PTAの緊急集会とやらの案内にもかかわらず、一足先に家に戻ってきました。

そうしたら夕方、環境委員長さんから久しぶりの電話が・・・。

「今日の集会には出られてなかったんですかあ？ 実は昨日、急に役員が集められて～、PTAの作業内容の見直しがあったんですヨ～♪ 『環境』の仕事、来年度から減ることで決まりみたいです♪」

昨日の今日って、そんな急に決まったの～！？ とビックリするやら飽きれるやらで、熱のことも忘れて長電話。（笑）

どうやら今年度の本部会の皆さん、年が明けてから急に、他の小学校へPTAの視察にいかれたそうなの。

で、やっぱり作業内容の見直し（つまり、環境委員会の仕事の一部を、他の委員会へ移譲する）の必要性ありとの見解に至ったらしい。

ウ～ン★

一年ちょっと前、

「●●台小学校では、こんな感じでやってるみたいですよ。」

と隣の小学校の例を挙げて改善案を提案した私に、

「な～に言ってるの！ 他の学校は関係ないのよ。ウチの学校にはウチの学校のやり方ってもんがあるんですっ！！」

ってロッテンマイヤーさんのように吠えたおかあさん方、今頃どうされてるのかしら？ ……
って、本部会や理事会でまだご活躍中。（笑）

それにしても、三年はかかると思ってたのに、まさかこんなに早く動くとは！

環境委員長さんによれば、私からの引き継ぎの際に「委員会レベルの引き継ぎに本部会の役員が関わるのは前例がない」といやがる新任の副会長さんを、私がむりやりひっぱりこんで、仕事の多さを見せつけたのが功を奏した、ってことらしいんですが……。

でも、どうせ変わるんなら、「満場一致で叩かれるっ♪」なんていう、あるある探検隊（レギュラー）のネタみたいな苦い体験はせずに済ませたかった★

「PTA八番勝負！」はこれにて完！（笑）

でも番外編は続く！（笑）

番外勝負！「二ハチの法則」

別にどうしてもできない理由があるわけじゃないけど、PTAとか自治会の役員になるのは遠慮したい、でも学校や町内の草刈りとかの諸活動の時にはちゃんと協力してくれる、そういう方は結構いらっしゃいますよね。

一方で、PTAの本部役員やってるのに、自治会の行事（ゴミゼロ運動とか集会所のそうじとか）ではほとんどお見かけしないな～って方いませんか？

私の回りには結構います、そういうお方。

そういう日に限って賑やかに友達集めてホームパーティされたりしてました☆

で、その時は正直ムカツ★つときたんですよね。だって、「PTAの活動に参加しない保護者はけしからん★」って日頃言ってたんですもん、その方。（笑）

私のときの本部の皆さんも、色々ご苦労があったのだと思います。

例えば本部役員と各委員会の代表が参加する理事会が散会した後、本部の役員さんだけが残って引き続き会合をもつことが度々ありましたから。

ただ、理事会の最中に、つまり委員会代表の皆さんの前で堂々と店屋物の相談をしながら注文の電話をかける本部の方々に、違和感を感じていたお母さんたちは少なくなかったと思います。

「お昼をまたいで会議が続くので、失礼してお弁当の注文をさせていただきます。」とかなんとか、一言コミュニケーションがあれば、全然違ってくるのに・・・って。

PTAの本部と各委員会は、表舞台と裏方の役割分担はあるとしても、会社などとは違って上下の関係ではないと思っているのは私だけではないと思いますが、本部役員の中には違った考えの方もおいでだったようで・・・。

本部の方には、委員会レベルのグチ話を少しでも聞いてもらえればそれで良かったんですけどね～★

そうすれば、委員会の仕事在实际どんなものなのか、本部の人たちも大雑把にでも理解できたはずなのに。

環境委員会の主な仕事は四番勝負にも書きましたが、なぜそれらが「環境」という名前でひと括りになっていたのかいまだに不思議です。

他には広報委員会と学年委員会しかなく、環境委員会がその時々で増えていくPTAの仕事の受け皿になってきてしまった模様。

「環境」って言葉がカバーする範囲って漠然として広すぎて、そもそも一つの委員会として置かれるものなの？ と疑問でした。

教材や備品などの物質的な環境整備という意味でベルマーク、校庭や校舎周辺の環境整備という意味で草刈り、校外の交通環境の安全確保という意味で横断歩道の立ち番・・・。（笑）

一方、学年委員会というところは、実質的には先生方が企画・運営してくださる年一回の「学年

集会」の実施がメインのお仕事。

学年単位で保護者と児童が集って、凧作ったりクリスマス・リースを作ったりの親睦会なんです。講師の方が遅れたり段取りがちょっと悪かったりすると、企画や手配をして下さった先生のせいにして済ませてしまうという、なんともお気楽な委員会でした。（だから、こちらは定期的にミーティングを持つ必要がなかったために、例の騒動が起こったわけです。）

で、環境委員会の仕事だった「横断歩道の立ち番企画と動員管理」の委譲先は、結局こちらになった模様。

予算が環境委員会の3倍（！）の広報委員会は、年三回のPTA会報（A4で4～8頁）を編集発行するんですが、その内容はPTAの活動紹介というよりは学校行事のレポートばかりで、学校側から各家庭に届く「校長だより」と「学級だより」とほとんどトリプってます（笑）。

そうかと思えば、本部は月イチのペースで熱心に「本部会だより」を出しています。

でも、そっちも各委員会に書かせた原稿（手書きのものやワープロで印刷したもの）をそのまま切り張り編集してコピー印刷ですから、結局記事書くネタをたくさん抱えてる環境委員会がここでも大忙し。（笑）

ところで、私が次期環境委員長を新年度の委員さんから選出するという役目を仰せつかった時の話を少しばかり。

私じゃ心もとないと思ったのか、環境委員会の仕事がどんなものなのか知らないのに本部役員さん達は口々に「仕事持っても出来るわよ～♪」とか、「小さい子がいても大丈夫よ～♪」と脇から口を出して委員長の立候補者を募りましたが、誰も手を挙げません。（笑）

私はその嘘っぽい空気に堪えきれず、ついに言ってしまいました。

「委員長さんは、出来れば外の仕事をされてない方、小さいお子さんがいらっしゃらない方がいいと思います。でないと、この仕事量の音頭取りは無理だと思います★」

結局、前年度と同様あみだくじと相成り（笑）、大当たりしちゃったのが1歳半のお子さんを連れた若いお母さん★

でも、この方が素晴らしい委員長ぶりを発揮され、環境委員会の仕事を合理化した立役者のお一人ということは既にお話しした通りです。

で、少し時間が経った今、こういうことをすべて引っ括めてとらえ直してみたら、「二ハチの法則ってことなんだな～」って思うようになりました。

「パレートの法則」（俗にいう「2・8（二ハチ）の法則」）に照らして考えれば、件（くだん）のパーティやってた役員さんは、自治会というネットワークの中では8割の側に属してる、ってことなんだろうな～って。

でもだったら、ご自分が2割の側に属する時には、あとの8割の人たちに「自分と同じように、

ちゃんと参加しろ」って要求しても土台ムリな話、ってことに早く気付いてほしいんですけどネ。（笑）

一方で、次期委員長に選出された方は、役割が振られた以上は環境委員会という場で2割の側に立つことを進んで受け入れたし、その時間も能力もあつたってことなのかもしれません。人はそれぞれ、何らかのネットワークの中で2割の立場を担っているのだと思うのです。

離れたところに住んでいる親が介護中とか、表には見えにくいけど持病があつて活動的な状態が長続きしない私。

だからPTAは、やっぱり荷が重いのです。

PTAの大改革のためには、陽のエネルギーに満ちた人が辺りに楽しい空気を創り出しながら、数年間続けて全体を見渡して下さることが必要だな〜と確信する今日この頃。

保護者の方の多くが昼間は家にいらっしゃらないこの時代、お父さんたちのように朝次々と忙がしそうに出勤されて行くお母さんたちの背中を、ひとり寂しく見送る私。（笑）

「あの人家にいるのにねえ。イマドキ〜。」なんて思われ（言われ?）ながら過ごす日々の中、一時の気の迷いで引き受ける羽目になった環境委員長の仕事で体調が悪化。

10数年ぶりに健康診断を受けたことで命拾い(?)した私☆

授業参観や草刈りなどの行事で学校に行く度に、いろいろあつたお母さんたちが話しかけて下さるようになったことがなによりうれしい。

すれ違いもまだまだありますが、それはそれで楽しい時間を過ごせるようになったし。

私はこれからも一（いち）PTA会員として、当番やら草刈りやらを手伝わせてもらおうと思つてます。

それが性に合ってるようですし、周りも「アンタはもう十〜分!!」と思つて下さったのではないかと。

それでも新年度を迎える今時は、PTA特有の「押し付け合いの緊張感」が漂ってくるので、やっぱりドキドキです★（笑）

～終わり～

PTA八番勝負！

<http://p.booklog.jp/book/62036>

初版：2005年5月『mixi』PTAコミュニティにて連載

第二版：007年2月『iZa!ブログ』にて連載

著者：nobvko 《水野暢子》

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/nobvko/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/62036>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/62036>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ